

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : 異文化理解と多文化共生社会の推進のために必要なこと
授業特別協力者名 : 岩澤 直美 氏
実施日時 : 2021年6月24日(木) 4時限
担当教員名 : 栗原 文子
授業科目名 : 英語 II SA(a)
履修者数 : 19名

実施結果

「多様性×教育」を軸としたサービスを展開する株式会社 Culmony 代表取締役の岩澤直美さんに異文化理解や共生社会のために必要なことについて、お話しいただいた。岩澤さんご自身の生い立ちや外国での生活、大学時代の世界1周旅行のお話、マイクロアグレッションやステレオタイプ、偏見、多文化共生の取り組み、異文化を楽しむためのコツなど、多岐にわたりお話しいただき、留学や将来海外で仕事をすることを目指す学生に対して多くの刺激と学びを与えてくださった。以下、学生のリアクションペーパーの一部を紹介します。

「この特別講義で、異文化、多文化について改めて考える機会となりました。自分も日本国籍ではないので、共感する話が多々ありました。同じように日本人として振る舞っても、日本人としてみられないところなど特に共感しました。さらに、国が違わなくとも、自分の周りにも人それぞれ違いがたくさんあると感じました。これは新しい視点でした。また、留学の話もたくさん聞いて、自分の留学をするモチベーションにも繋がりました。この講義で学んだ内容を自分の生活の中でも生かしたいと思います。」

「現在、日本の様々な場所でグローバル人材が求められ、学校でグローバル教育を取り入れています。私はグローバル人材とは、グローバル社会とは何だろうと常に考えていました。私自身以前ニューヨークとバンコクに住んでいて、岩澤さんのように「海外に住んでいたからこういう人なんだろう」という先入観などを持たれて嫌な想いをしたことが何度かあるためとても共感できる部分が多かったです。私は海外生活を通して、世界には本当に様々な環境で育ってきた人がいてみんな違う考え方を持っていることを知り、個々を尊重することの大切さを学びましたが、今回岩澤さんのお話を聞いて、ただ異文化に対する捉え方を学ぶだけでなく、今この世界で何が大切で何が求められるべきか考えるきっかけになりました。私は4月からアメリカに留学をしたいと考えています。そこでは今回岩澤さんから聞いたお話を忘れずに、今まで知ることのできなかった異文化や価値観をたくさん学びたいと思いました。」

「マイクロアグレッションに関して、私が中学生の時に一度マイクロアグレッションについて考えたときがあったのですが、どの言葉がその人にとってマイクロアグレッションなのかと考えて話すとも話せなくなってしまったことがあります。その為、大学生になった今、マイクロアグレッションについてももう一度考えてみようと思いました。この度は素敵な講演をありがとうございました。」

